

基本事業コード	13060001	担当課所名	市立病院管理課
基本事業名	市立病院管理事業		
総合振興計画 の位置づけ	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 48 ページ

基本事業の概要	市立病院の施設設備、経営、人事管理を行うことにより、秩父地域の住民に対してより良い医療が提供できる環境をつくる。
---------	--

対象	秩父地域の住民
意図 (対象をどのようにしたいか)	(施設設備、経営、人事管理を行うことにより、)より良い医療が提供できる環境を整備したい。

基本事業指標	指標の算式	単位	28年度	評価年度(29年度)		31年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
医療収益に対する職員給与費の割合	職員給与費/医療収益×100	%	50.5	54.1	51.2	55.3以下	黒字同規模病院平均値: 55.3%(H28決算)
医療収益に対する医療材料費の割合	医療材料費/医療収益×100	%	18.9	17.5	19.4	16.4	黒字同規模病院平均値: 16.4%(H28決算)
1床あたりの償却資産(建物)	(償却資産-減価償却累計額)/許可病床数	千円	9,924	12,689	9,630	13,323	黒字同規模病院平均値: 13,323千円(H28決算)
整備不良による年間医療機器事故件数		件	0	0	0	0	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			29年度	単位	事務事業評価 31年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	実績値(下段)			
01	市立病院内部管理事務	指標:医療収益に占める職員給与費の割合	54.1	%	B			
		511,690,606	488,445,932	550,739,000	51.2		維持:拡充	
02	医療材料購入事務	指標:医療収益に占める医療材料費の割合	17.5	%	B			
		543,450,578	555,038,379	599,084,000	19.4		維持:拡充	
03	市立病院施設設備維持管理事業	指標:1床あたりの償却資産(建物)	12,689	千円	B			
		360,703,915	329,355,845	346,067,000	9,630		維持:拡充 ○	
04	医療機器等整備事業	指標:整備不良による年間医療機器事故件数	0	件	B			
		415,979,762	324,506,465	317,481,000	0		縮小:拡充 ◎	
05		指標:						
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円)	1,967,579,000	1,798,795,000	1,813,371,000	
事業費の合計(円) (A)	1,831,824,861	1,697,346,621	1,813,371,000	
財源内訳	国庫支出金	3,520,000	6,293,000	3,150,000
	県支出金	197,800,000	51,300,000	34,800,000
	地方債	315,014,260	311,239,950	309,791,000
	その他特定一般財源	1,315,490,601	1,328,513,671	1,465,630,000
正規職員	業務量	182.48人	182.51人	
	人件費(B)	1,380,698,761	1,389,815,127	
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	40.80人	42.00人	
	人件費	187,615,319	202,803,175	
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)	3,212,523,622	3,087,161,748		

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)

○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 病院経営を人事管理、用度管理、施設管理の視点から指標を定め、黒字同規模病院の平均値を基に目標値を設定している。職員給与費割合の実績は、目標値を達成しているものの、医業収益の減少の影響もあり昨年度より増加した。医療材料費の割合は、目標値を上回り、昨年度より増加している。1床あたりの償却資産は、同規模病院より下回っている。医業収益増加と経費削減を図り、また施設管理については、老朽化を踏まえ緊急性を見極め、随時、更新や修繕を行っていく必要がある。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？(過不足がある場合は、改善提案に記載する。) 秩父地域の住民に対してより良い医療を提供できる環境をつくるためには、人事管理、施設管理、医療材料等の用度管理、医療機器等の管理など多岐にわたる事業を円滑に行い、経営の基盤が確立されている必要がある。いずれの事業も必要である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 市直営の病院であるが、秩父保健医療圏(1市4町)の二次救急医療体制を維持するため、民間の2病院とともに病院群輪番制の役割を担っている。また、地域に不足している医療或不採算部門の医療についても担っていく必要がある。

◆改善提案◆ (事中評価の際の改善提案を含む)

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 枝番号04医療機器等整備事業を特に重点化する事業とした理由は、引き続き安心・安全な医療を提供するために老朽化した医療機器を更新する必要があるからである。平成30年度は医用画像診断支援システムサーバの更新、温冷配膳車の購入を行い、平成31年度以降も耐用年数、使用頻度を考慮し、随時更新していく予定である。 枝番号03市立病院施設設備維持管理事業を重点化する事業とした理由は、医療機器と同様に老朽化に伴い、修繕や設備の更新が必要となっているからである。平成30年度は病棟洋式トイレフラッシュバルブ改修を行うなど、適正な維持管理に努めていく必要がある。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組み改善提案	平成30年度は診療報酬の改定があったことから、引き続き医療材料の購入については情報収集を進め、適正な価格の把握に努めるとともに、医薬品については薬剤科と連携して、ジェネリック医薬品の採用を増やし、削減に繋げていく。	28年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 医療材料の購入については、情報収集を進め、適正な価格の把握に努めるとともに、医薬品については、薬剤科と連携して、ジェネリック医薬品の採用を増やし、削減に繋げていく。 医療材料については医療材料管理システムの入れ替え作業が難航し、システムを活かしての情報収集が十分ではなかった。医薬品についてはジェネリック医薬品へ切り替えを積極的に進め、そのシェア率を前年度60.6%から77.9%に引き上げた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組み改善提案	病院は南館が築36年、本館が築27年と老朽化が進んでいることから、現状調査・分析を行うとともに、求められる病院機能を付加するために、現病院施設を改修する場合と新設する場合についての検討資料を作成するなど、新病院基礎調査を実施する。	病院機能評価を受審し、業務を客観的に見直すとともに、訪問審査時、また審査結果報告を受け、指摘事項等を重点的に改善していく。 病院機能評価をH29.7Iに受審し、訪問審査時や審査結果報告による指摘事項等を改善した。その結果、基準を満たしたことにより認定を得ることができた。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(1) 公共施設等ファシリティマネジメントの推進
中長期的(3~5年)に取り組み改善提案	新公立病院改革プランに基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進める。	新公立病院改革プランに基づき、目標を達成するために必要な事業の改善を進める。 ジェネリック医薬品へ切り替えを積極的に進め、そのシェア率を前年度60.6%から77.9%に引き上げた。しかしながら、看護師不足等によって、病床状態にある病床を解消して病床利用率の改善が出来なかったなど、遅れている事業もある。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6) 公営企業等の経営健全化
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 市立病院の基盤である施設・設備・人員体制・経営が安定することで、住民が安心して医療を受けられる。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	手島 均	電話番号 0494-23-0611
----------------------	------	----------------------

基本事業コード	13070001	担当課所名	市立病院医事課
基本事業名 市立病院医事事業			
総合振興計画 の位置づけ	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 48 ページ

基本事業の概要	良質な医療を効率的に提供する環境を整え、迅速な患者対応及び適切な医療に対する請求・収納を行う。
---------	---

対象	患者
意図 (対象をどのようにしたいか)	健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	28年度	評価年度(29年度)		31年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
市立病院患者数	入院外来年間延べ 受け入れ患者数	人	112,920	114,000	118,162	120,000	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			29年度	単位	事務事業評価 31年度以降の 事業の方向性 コスト・成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	実績値(下段)			
01	医療情報システム維持管理事業	指標:待時間満足度			65	%	B	
		99,628,503	91,510,924	96,394,000	63.3		維持;拡充	
02	医療費請求・収納事業	指標:医療費査定率			0.2	%	A	◎
		63,913,289	64,252,781	72,660,000	0.15		維持;維持	
03		指標:						
04		指標:						
05		指標:						
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考)最終予算額(円)		179,755,000	160,445,000
事業費の合計(円) (A)		163,541,792	155,763,705
財源内訳	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他特定 一般財源	16,978,000	16,963,000
		146,563,792	138,800,705
正規職員	業務量 人件費 (B)	4.52人 27,061,154	4.49人 26,350,773
臨時職員 (事業費に含む)	業務量 人件費	0.00人 0.00人	0.00人 0.00人
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		190,602,946	182,114,478

【重点化欄】

◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	×	C, B	B, C	C
	維持	×	B	A	×
	縮小	×	C	×	×
	休廃止	D	×	×	×
		皆減	縮小	維持	拡大
		コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ この事業は地域の方々が健康保持に必要な医療を安心して受けられるようにするため、より多くの患者に利用していただけることを目標に掲げた。患者に安心安全な医療を実感していただくことで、受診者数を伸ばし、健全な運営を継続していけるよう、基本事業の意図として適切な指標であると考え。実績値については、目標値を達成でき、昨年度より受入患者数は増加した。主な要因としては、平成29年度は平成28年度に比べ、外来・入院ともに内科・整形外科で患者数が増加したことによるものである。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 患者は納得のいく医療行為、迅速な対応、正確な医療費請求を望んでいる。医師が行った診療内容について、医療情報システムを利用し可能な限り短時間で算定を行い、待つことで更なる負担とならないよう努めることは重要である。また、病院事業においては医療費請求・収納業務は必須であり、適切な医療に対する費用の請求・収納を目標に努力していくことは、請求した診療報酬を全て受領できることで安定した運営を継続するため、ひいては患者に対して安全な医療を提供するために重要な業務である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間(市民、企業、NPO)との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 地域の中核となる公的病院として安定した運営のために業務を実施していくのは当然必要と考える。

◆改善提案◆ (事中評価の際の改善提案を含む)

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 『医療費請求・収納事業』を重点化する事業として選択した理由は、医業収益の安定的な確保を図ることが、病院の健全経営には必須であり、今後も重点的に取り組む必要があるため。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		
予算を伴わない短期的(1~2年)に取り組む改善提案	昨年度作成したパンフレットを関係施設に配布し、紹介患者の増加に努める。また、院内多職種で組織する患者サポート体制会議を毎週開催し、患者をサポートする体制を整備することで、患者が受診しやすい病院づくりをしていく。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(6)公営企業等の経営健全化
予算を伴う短期的(1~2年)に取り組む改善提案	昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下) 診療科によっては、現在の外来体制上、現状以上の患者を受け入れることが難しい診療科もある。しかし、その分を補うためにも、秩父地域内の医療機関へアンケート調査を行い、今後の運営に反映させることで、地域内医療機関からの紹介患者の増加を進める。 アンケート調査を実施したところ、「医療内容の信頼性」、「面識のある医師の存在」を重要視する医療機関が多かった。これを踏まえ、地域医療連携会の内容を検討し、開催した。	
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
中長期的(3~5年)に取り組む改善提案		
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 地域医療連携会を継続的に開催し、参加した医療機関の意見を今後の運営に反映させることで、秩父地域に望まれる医療を実現し、安心・安全な医療を患者へ提供する。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	森下 喜子	電話番号 0494-23-0611
----------------------	-------	----------------------

基本事業コード	13080001	担当課所名	診療所事務局
基本事業名 大滝国保診療所管理運営事業			
総合振興計画	分野	2	医療・福祉・保健
	政策	1	地域医療の充実
	施策	2	市立病院の充実
			総合振興計画 48 ページ

基本事業の概要
 所内施設の維持管理及び医療機器の更新について、計画的に実施して診断能力の向上を図り、より良い医療が提供できる環境をつくる。

対象 診療所利用患者
意図 (対象をどのようにしたいか) 所内の環境整備を行い、より良い医療を提供できるようにする。

基本事業指標	指標の算式	単位	28年度	評価年度(29年度)		31年度	他団体の指標(数値)
			過年度実績値	目標値	実績値	目標値	
大滝診療所患者数	年間患者数	人	4,325	4,100	3,552	3,400	

◆基本事業を構成する事務事業の実績◆

枝番号	事務事業名 (★=実施計画事業)	指標			29年度	単位	事務事業評価 31年度以降の 事業の方向性 コスト:成果	重点化
		事業費(円)			目標値(上段)			
		28年度決算額	29年度決算額	30年度予算額	実績値(下段)			
01	診療所施設整備維持管理事業	指標:年間患者数			4,100	人	B	◎
		16,361,247	15,480,833	22,768,000	3,552		縮小:維持	
02	医療材料購入事業	指標:医療収益に占める材料費の割合			50	%	B	
		33,766,961	21,760,815	32,496,000	49.8		縮小:維持	
03	医療機器等整備事業	指標:年間医療事故件数			0	件	A	
		3,540,240	1,523,880	622,000	0		維持:維持	
04	送迎バス運行事業	指標:年間バス利用者数			1,200	人	A	○
		2,156,145	2,158,272	2,199,000	1,005		維持:維持	
05	歯科医師確保事業	指標:歯科診療患者数			300	人	C	
		3,385,200	3,348,000	3,646,000	170		縮小:縮小	
06		指標:						
07		指標:						
08		指標:						
09		指標:						
10		指標:						
11		指標:						
12		指標:						
13		指標:						
14		指標:						

(参考) 最終予算額(円)		65,035,000	62,959,000
事業費の合計(円) (A)		59,209,793	44,271,800
財源内訳	国庫支出金	14,552,000	14,678,000
	県支出金	5,284,000	3,485,000
	地方債	3,500,000	
	その他特定財		
	一般財源	35,873,793	26,108,800
正規職員	業務量	6.00人	5.00人
	人件費(B)	35,921,886	29,343,845
	業務量	3.00人	4.00人
臨時職員 (事業費に含む)	業務量	7,899,504	8,013,868
	人件費		
事業費合計(人件費込み) (円) (A)+(B)		95,131,679	73,615,645

【重点化欄】
 ◎: 評価時点以降の事業の方向性(コスト・成果)の状況から、特に重点化する必要がある事業(1つ以内)
 ○: 重点化する必要がある事業(2つ以内)

成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	C	B	B,C	C
◎	×	×	×	×	×	×	×	×
○	×	×	×	×	×	×	×	×
	皆減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性			

◆評価◆

評価の視点	左欄に掲げる評価の視点から、基本事業の意図を達成するにあたって、どのような問題点を読み取ることができるか。
基本事業指標の分析	基本事業の「意図」を適切に数値化した指標になっているか？目標値の設定は適切か？また、実績値をどう考えるか？ 大滝国民健康保険診療所は、高齢化や過疎化が著しい大滝地区で唯一の医療機関であるため、住民が安心して診療が受けられ、暮らしていけるように運営していく必要がある。一方で、一般財源からの繰入金を少なくするため、創意工夫して患者数を減少させない必要があり、目標値の設定としては適切である。大滝地区は人口減少が激しく、実績値は目標値に届かなかった。今後も人口増は見込めないため、目標値は下方修正した。
基本事業を構成する事務事業の妥当性	基本事業の「意図」を達成するため、事務事業は必要な事業のみか？（過不足がある場合は、改善提案に記載する。） 住民が安心して医療サービスを受けられるよう、医療機器の整備等をはじめ、患者送迎用バス及び往診用自動車の適正管理・運行を図るとともに、往診等も含めた地域医療提供体制の充実に努めるため、事務事業として妥当である。
実施主体の妥当性	事業に対する民間（市民、企業、NPO）との役割分担や市の関与の仕方は適切か？ 大滝国民健康保険診療所は、過疎化・高齢化が著しい大滝地域における唯一の医療機関であることから、市が運営することが妥当であると考えられる。

◆改善提案◆（事中評価の際の改善提案を含む）

Action

新規に実施する事務事業名	事業の概要	
表面の「基本事業を構成する事務事業」の重点化欄で、重点化する事業として選択した理由、また上欄の新規事業を実施する効果等を記述 大滝地区唯一の医療機関としての使命を全うするため。		
改善のため休廃止する事務事業名	休廃止する理由	
改善の方向性(具体的な改善提案)を記述(改善内容、始期、終期等)		昨年度左欄に記入した改善提案(上)とその実施状況(下)
予算を伴わない 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
予算を伴う 短期的(1~2年)に 取り組む改善提案	高圧蒸気滅菌器と薬剤自動分割分包機が老朽化により、ここ数年機器の調子が悪く業務に支障をきたしているため、最新の機種に更新していく。	超音波診断装置は設置から16年経過しており、老朽化のため画像が不鮮明となりの確な診断ができない状態となったため、最新の超音波画像診断装置に更新していく。 超音波診断装置を更新して、診断力の向上を図った。
	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	(11)-
中長期的(3~5年)に 取り組む改善提案	行政改革大綱 【主な推進項目】該当状況	
改善により見込まれる効果、住民への影響に対するフォロー 高圧蒸気滅菌器と薬剤自動分割分包機が更新されたことにより、医療サービスの更なる向上が図られた。		

基本事業執行責任者 (担当課長名)	岸 敏男	電話番号 0494-55-0341
----------------------	------	----------------------